

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和04年09月07日

計画の名称	岩国駅周辺の安心・安全な交通環境の創出と高質な公共空間の形成（防災・安全）														
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	岩国市														
計画の目標	市民の交通手段選択の自由度とモビリティを高め、自動車交通に過度に依存しない交通体系の形成を実現するため、岩国駅周辺地区を次代を担う都市・交通・交流拠点として整備するとともに、中心市街地の安心・安全な移動環境と快適な空間の創出を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		7,017	A	6,414	B	0	C	603	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）		8.59	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H24）、（H22）		（H31末）
1	駅舎等のバリアフリー化による利便性の向上に伴い、鉄道駅における移動等の満足度を49.1%（H24）から66.6%（H31）に増加させる。 市民意識調査により、鉄道利便性の向上に対して満足している人の割合を算出する。 （満足している人の割合）＝（「満足」、「概ね満足」の回答者数）／（アンケート回答者数）×100			
		49%	%	67%
2	岩国駅周辺の交通結節機能向上やゆとりのある空間整備により、東西駅前広場の歩行者交通量を9,570人／日（H22）から12,500人／日（H31）に増加させる。 駅前広場（西口2箇所、東口2箇所）の平日5時から23時30分の歩行者数を計測する。 現地で評価時点日当り駅広歩行者数の計測（西口北：2,599人、西口南：5,000人、東口北：1,482人、東口南489人）			
		9570人／日	人／日	12500人／日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		H28H29H30H31R02																	
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	岩国市	直接	岩国市	S街路	改築	（都）岩国停車場中央通 り線（西口駅前広場）	広場面積 A = 7,870㎡	岩国市	■	■	■	■		1,032		-
		C01 - 008を統合																	
	A01-002	街路	一般	岩国市	直接	岩国市	S街路	改築	（都）昭和町藤生線（東 口駅前広場）	広場面積 A = 2,600㎡	岩国市	■	■	■	■		513		-
	A01-003	街路	一般	岩国市	直接	岩国市	S街路	改築	（都）岩国駅東西線（自 由通路）	L = 110m、W = 6m	岩国市	■	■	■			4,363		-
	A01-004	道路	一般	岩国市	直接	岩国市	市町村 道	改築	（他）麻里布町54号線（ 地下通路）	通路改修 L = 0.1km	岩国市		■	■			257		-
		C01-002から移行																	
	A01-005	道路	一般	岩国市	直接	岩国市	市町村 道	改築	（他）麻里布町54号線（ 短時間利用駐車場）	駐車場 約9台	岩国市			■	■		23		-
		C01-003から移行																	
A01-006	道路	一般	岩国市	直接	岩国市	市町村 道	改築	（他）元町2号線（東交通 広場）	広場面積 A=570㎡	岩国市			■	■		58		-	
	C01-004から移行																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	岩国市	直接	岩国市	市町村 道	改築	（他）昭和町2号線（東口 駐輪場）	駐輪場 500台	岩国市		■	■			168		-
		C01-006から移行																	
											小計						6,414		
											合計						6,414		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	C01-001	施設整備	一般	岩国市	直接	岩国市	-	-	岩国駅西口駅前広場	広場面積 A=1,630㎡	岩国市	■	■	■	■		143	-	
		（都）岩国停車場中央通り線（A01 - 001）と一体的に整備することで、公共交通等利用者の移動の円滑化、利便性、安全性の確保を行うとともに、交通結節機能の向上を図る。																	
	C01-002	施設整備	一般	岩国市	直接	岩国市	-	-	岩国駅地下通路等改修	勾配修正 2箇所	岩国市	■					106	-	
		（都）岩国停車場中央通り線（A01-001）、（都）昭和町藤生線（A01 - 002）と一体的に整備し、機能復旧とともに勾配改修等を行うことで、自転車利用者の利便性の向上及び地区内での A01 - 004に移行																	
	C01-003	施設整備	一般	岩国市	直接	岩国市	-	-	岩国駅周辺短時間利用駐 車場整備	駐車場 約9台	岩国市	■					1	-	
		（都）岩国停車場中央通り線（A01 - 001）、（都）岩国駅東西線（A01 - 003）と一体的に整備することで、多様な駐停車時間のニーズに対応し、駅前広場内の安全で円滑な移動環境の充実 A01-005に移行																	
	C01-004	施設整備	一般	岩国市	直接	岩国市	-	-	岩国駅東交通広場	広場面積 A=570㎡	岩国市	■					7	-	
		（都）昭和町藤生線（A01 - 002）と一体的に整備することで、東口駅前広場の交通結節機能や交流機能を補完し、高齢者、障害者等の安全で円滑な移動環境を創出するとともに、駅前広場でのイ A01-006に移行																	
	C01-005	施設整備	一般	岩国市	直接	岩国市	-	-	岩国駅西口駐輪場連絡通 路整備	連絡通路 L=65m	岩国市			■			226	-	
		（都）岩国停車場中央通り線（A01 - 001）、（都）岩国駅東西線（A01 - 003）と一体的に整備することで、自由通路との安全で円滑な移動環境の創出を図るとともに、自転車による駅利用 A01-007に移行																	
	C01-006	施設整備	一般	岩国市	直接	岩国市	-	-	岩国駅東口駐輪場整備	駐輪場 500台	岩国市	■					1	-	
（都）昭和町藤生線（A01 - 002）と一体的に整備することで、必要な規模の駐輪場の確保と東口駅前広場の適正な機能配置が可能となり、安全で円滑な移動環境が創出されるとともに、自転車に A01-007に移行																			
C01-007	施設整備	一般	岩国市	直接	岩国市	-	-	公共交通乗換施設整備	公共交通待合所整備 A=90㎡	岩国市		■	■	■		88	-		
	（都）岩国停車場中央通り線（A01 - 001）、（都）岩国駅東西線（A01 - 003）と一体的に整備することで、駅における公共交通の乗り継ぎ機能、観光情報発信機能等を強化し、利便性を向 A01 - 001に統合																		
C01-008	施設整備	一般	岩国市	直接	岩国市	-	-	回転場整備	回転場整備 0.1km	岩国市	■					31	-		
	（都）岩国停車場中央通り線（A01 - 001）と一体的に整備することで、西口駅前広場内に適正な機能配置を行うとともに、駅前広場内の自動車・歩行者等と回転場の自動車との錯綜を防ぐ安全で A01 - 001に統合																		

C 效果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											小計						603			
											合計						603			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事後評価委員会（中心市街地整備課）において、評価を実施した。	令和4年9月5日
	公表の方法
	岩国市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指標 ・令和元年度に実施した岩国市民満足度調査にて、67.3%の市民が鉄道利便性の向上に対して満足していると回答しており、移動円滑化に対して市民から評価されていることを確認した。 指標 ・令和2年度に実施した中心市街地通行量調査にて、7,966人/日の実績となり、目標値に対して下回った。 （西口北：1,549人、西口南：3,614人、東口北：1,604人、東口南1,199人）
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	岩国駅東西自由通路の供用後、周辺ではマンションの建設や民間による再開発事業の動きが活性化している。

○特記事項（今後の方針等）

市民意識調査からも分かるように、計画の目標である安心・安全な移動環境の創出は一定程度の効果があったと考えられる。
 また、駅前広場の整備後は、民間等による広場の交流空間を利用したイベント実施が検討された。結果として新型コロナウイルスの影響によりほとんどが中止となったが、管理者である本市として駅前広場を積極的に利用促進することで、駅前広場を拠点に中心市街地の活性化を図りたい。
 なお、今回の調査地点以外に、中心市街地区域内で毎年交通量調査を行っており、新型コロナウイルスの収束後、社会情勢が通常に戻ったと判断された状態での通行量を参考にして、計画の成果を今後も注視したい。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	駅舎のバリアフリー化による利便性の向上に伴い、鉄道駅における移動等の満足度を49.1% (H24) から66.6% (H31) に増加させる。		
	最 終 目標値	67%	
	最 終 実績値	67%	
2	岩国駅周辺の交通結節機能向上やゆとりある空間整備により、東西駅前広場の歩行者交通量を9,570人/日 (H22) から12,500人/日 (H31) に増加させる。		
	最 終 目標値	12500人 / 日	調査は令和3年1月28日に実施しているが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により、首都圏や関西・中部地方、隣県の福岡県など都市部を中心に移動が制限されていたこと。また、山口県や広島県などでも他地域への移動や不要不急の外出に対して自粛が求められており、電車やバスも減便していたことが影響していたと考える。
	最 終 実績値	7966人 / 日	